



春見多齋語
三編

~ 13
3758
2



國群

英水化



作題曲三國志

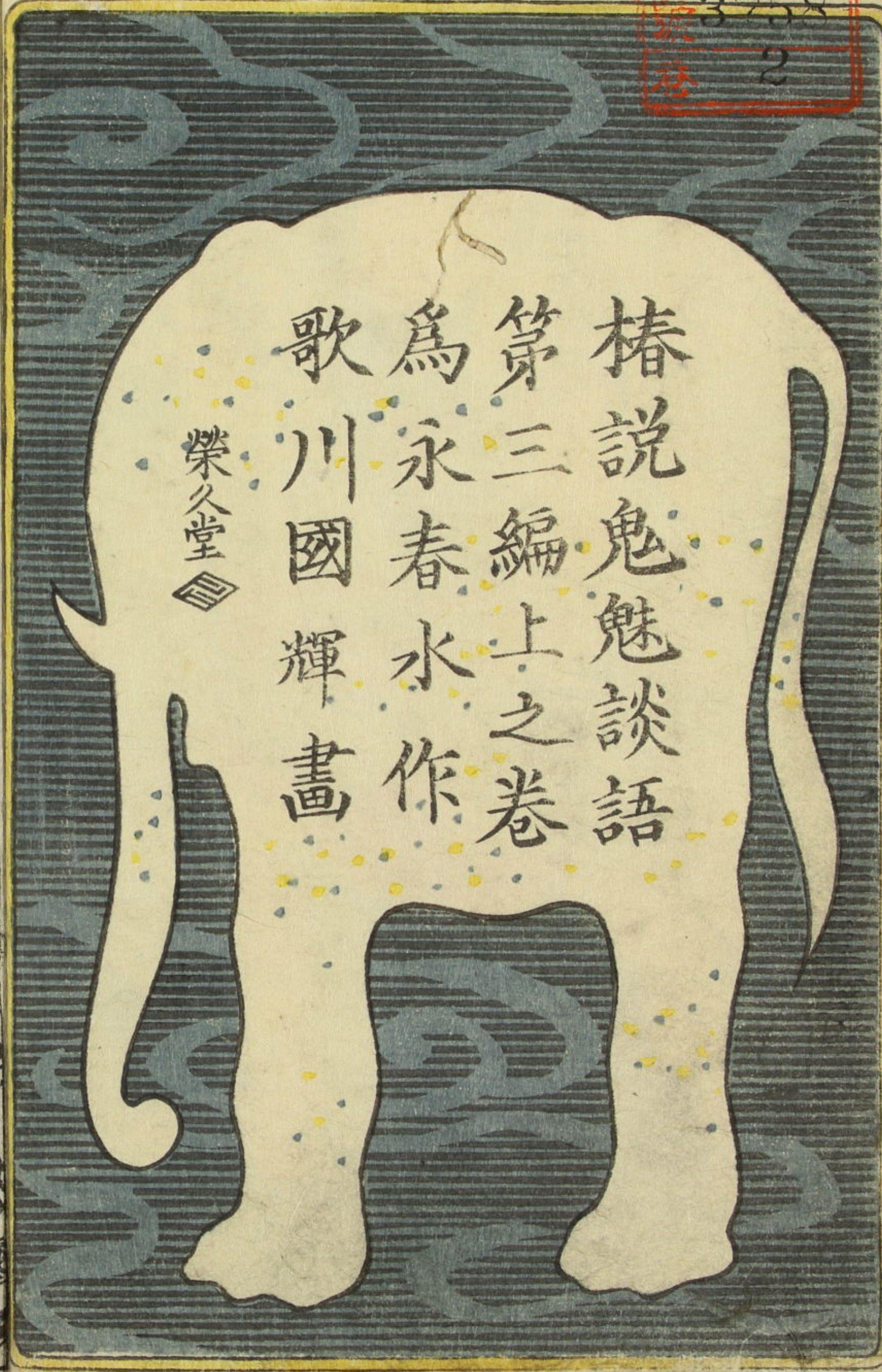
三編上



門心12
3758
2

椿説鬼魅談語
第三編上之卷
為永春水作
歌川國輝畫

榮久堂



印

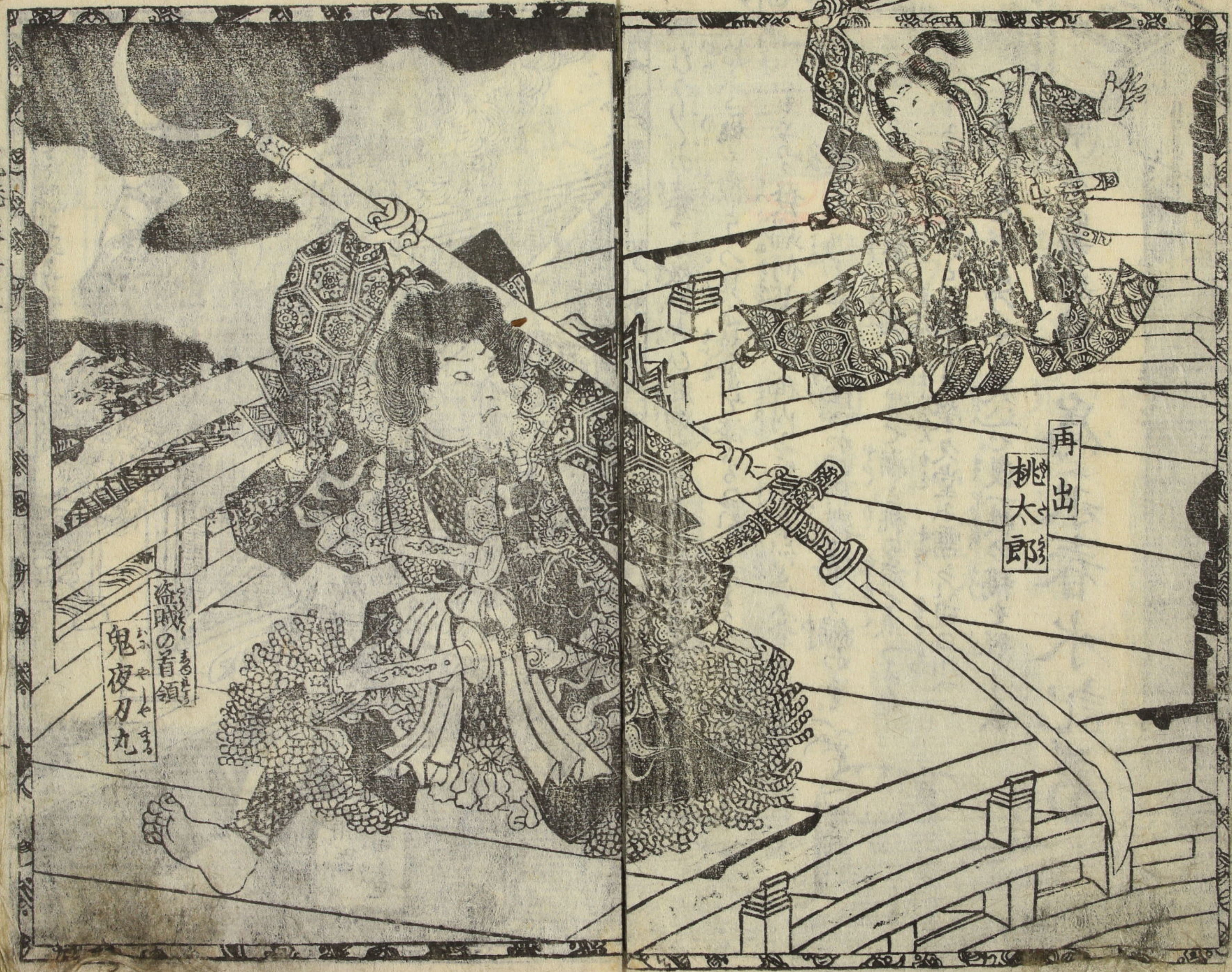
ひうりの波々小倣ひ古ひ赴向を洗濯して綴りあへる小冊ハ
拾ふる桃を種とらへ見ふ枝葉を添ふるを素より知る根あり
然ともふら發端何某殿の御内にて本名何の書と出さるる當時の
季候小帳の記に仍く首ふ山蔭のかれ御殿場より編むを
浮木がうらむ説果の二編ふいて漸と桃の流て来りて
見せし最末いと三編を又榮久堂小需られ硯の川へ
古筆とせんがごとくこと突込で復一帙の稿を脱しぬ

便八牛の春新鑄

為永春水記



日本書紀卷之三



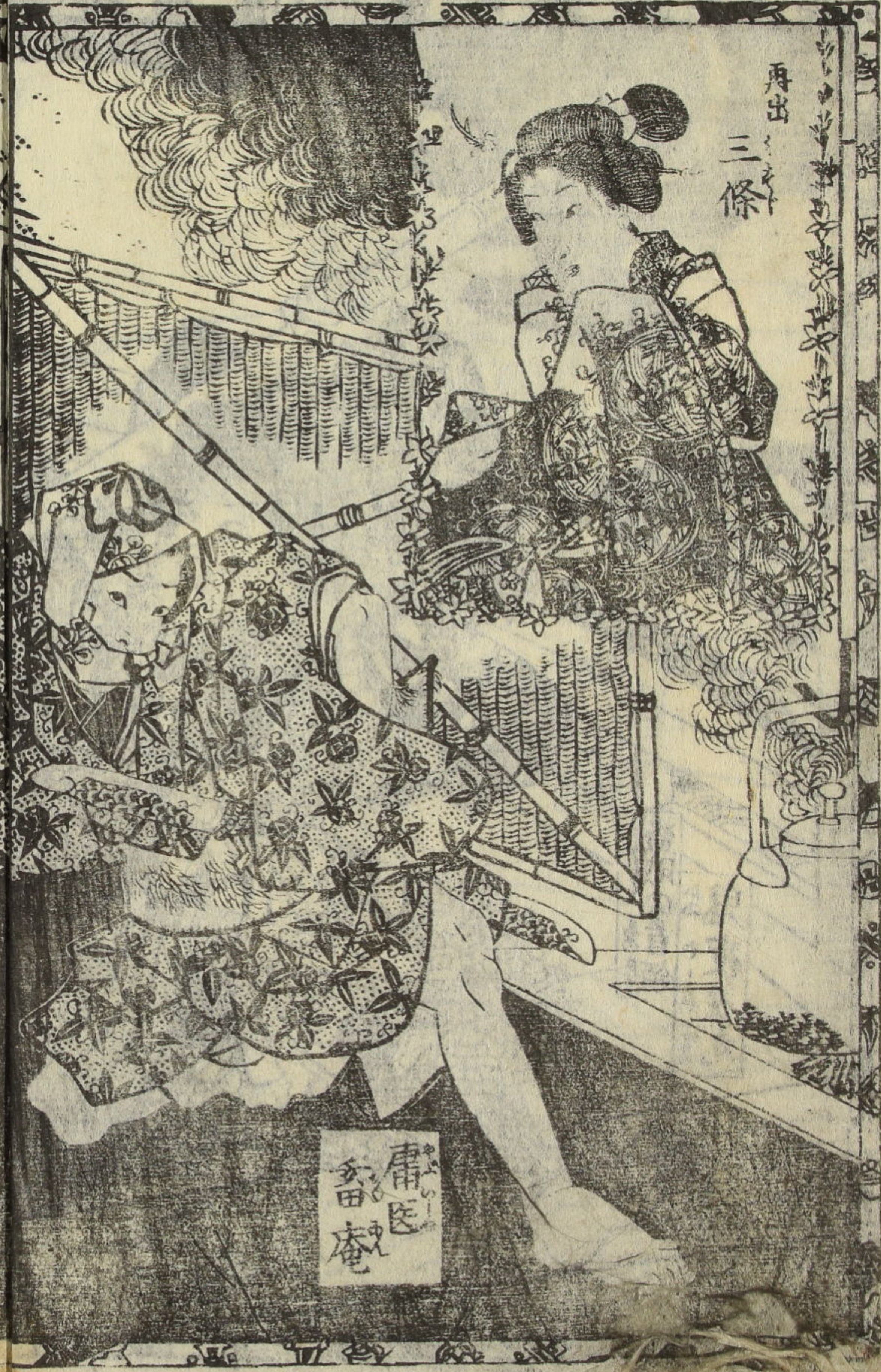
盗賊の首領
鬼夜刀丸

再出
桃太郎

鬼夜言



山中
雙の
根向
餅



再出
三條

庸医
畜庵



為永春水作一雄齋國輝画

新撰 柳花志げり

物編 此の中たより流りせし川野鳥の記
白の中たより流りせし川野鳥の記
画入りたる一雄齋の筆のすまじ
出板 多々たるものなり

永代萬葉性来 兩莫 兼款附

百人一首集久庫

消息性来 近刻

百人一首集久庫

農家 田舎性来 近刻

小唱文庫 二初編 三編

源氏銘刀誌 一本 近刻

この中の源氏を記しつたものなり
さあけきり画したる一雄齋の筆
さあけきり画したる一雄齋の筆

文慶堂藏板略目録

地本草紙問屋 大國屋金治郎



人形町通 橋留町

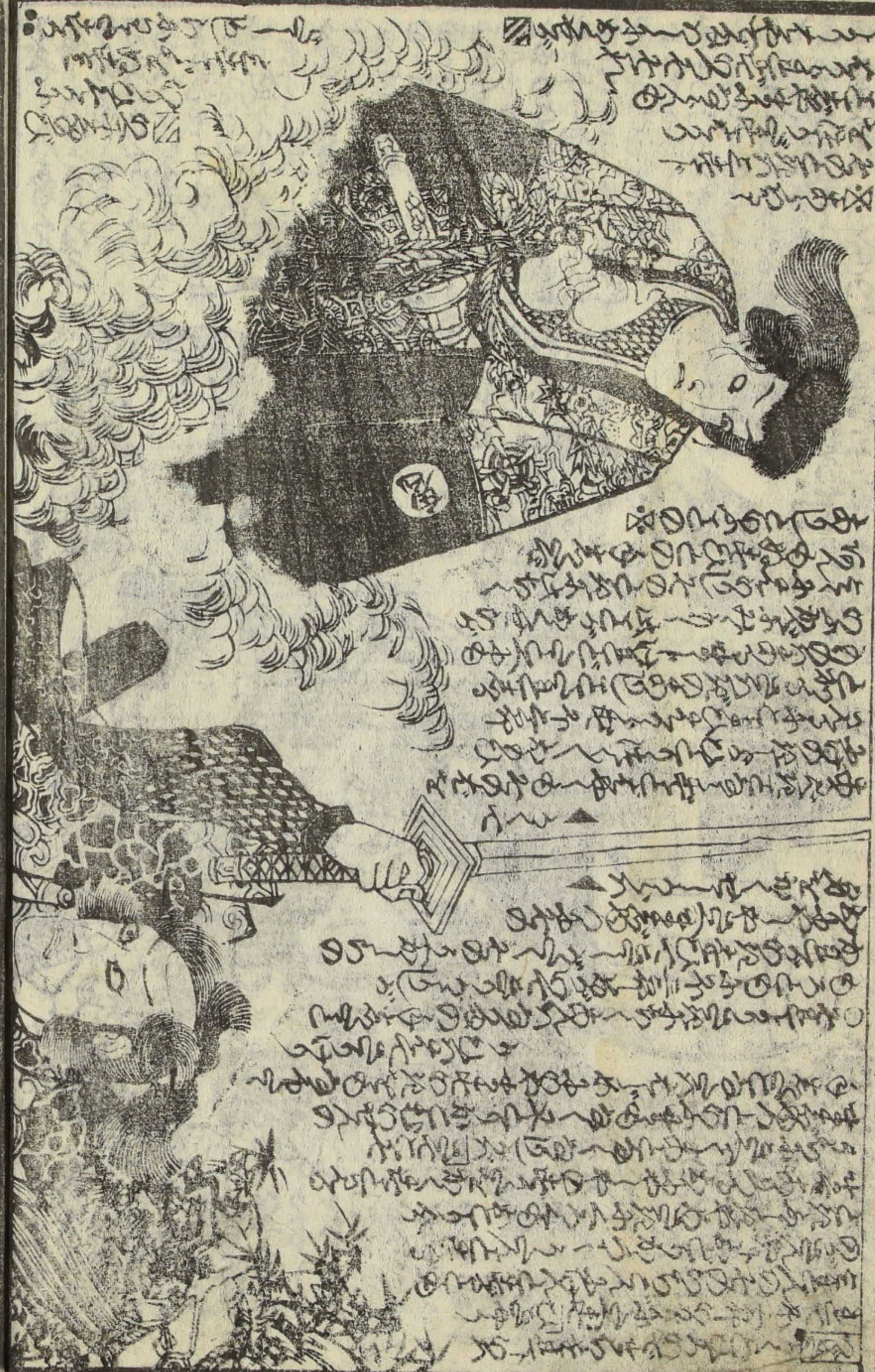
古
鬼
椿
説
談
話
傳
島
老

榮久堂壽梓

三編下

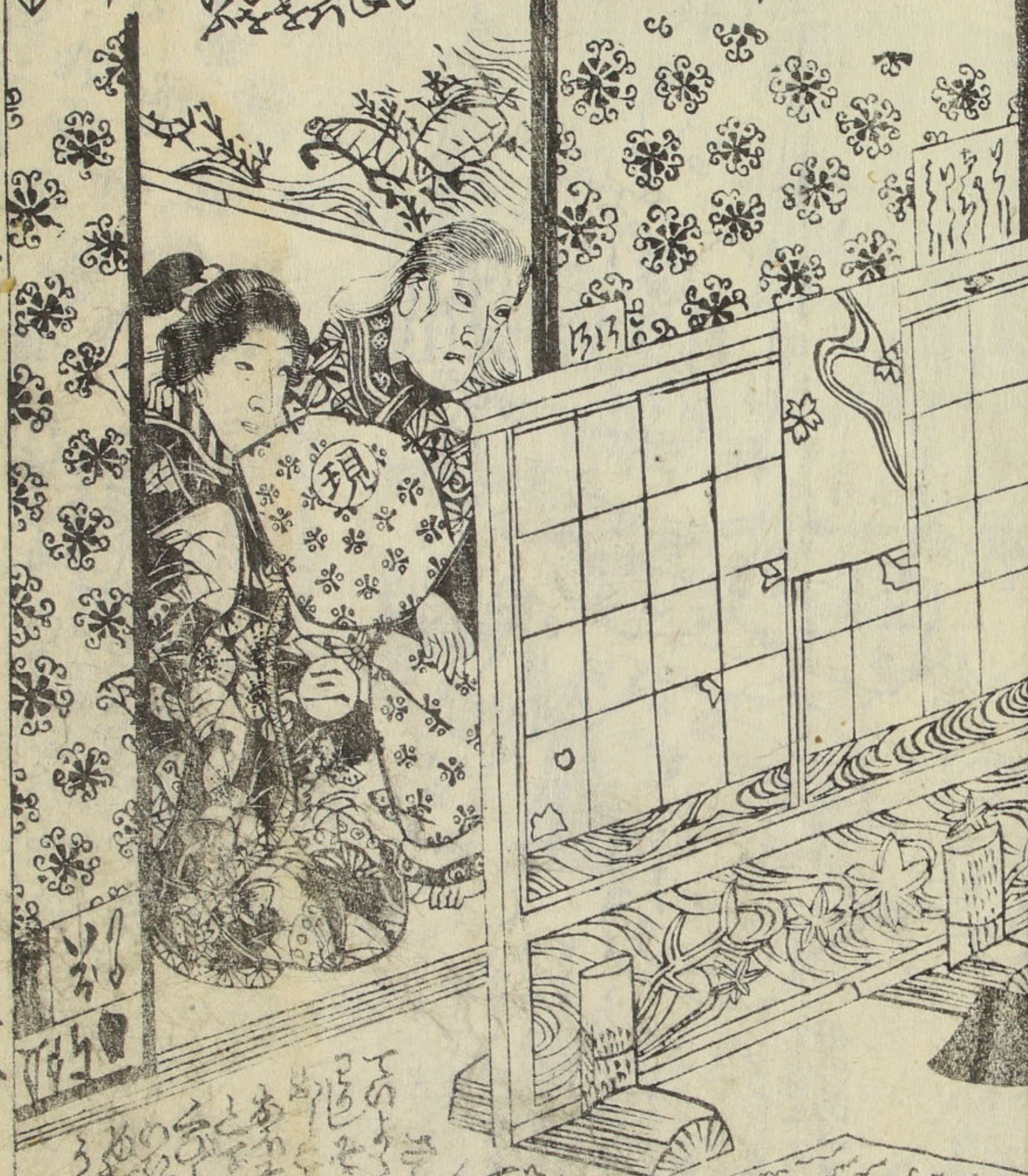






見鬼言記三

Handwritten text in the upper left corner of the left page, written in vertical columns.



Handwritten text in the lower left corner of the left page, written in vertical columns.

Vertical text on the left edge of the left page, possibly a page number or title.

Handwritten text in the upper right corner of the right page, written in vertical columns.



Handwritten text in the lower right corner of the right page, written in vertical columns.

Vertical text on the right edge of the right page, possibly a page number or title.





鬼魅談語 編四

什題曲五回函

上



為永春水作一壽齋國貞画

四編上之卷

春説鬼魅談語 附圖

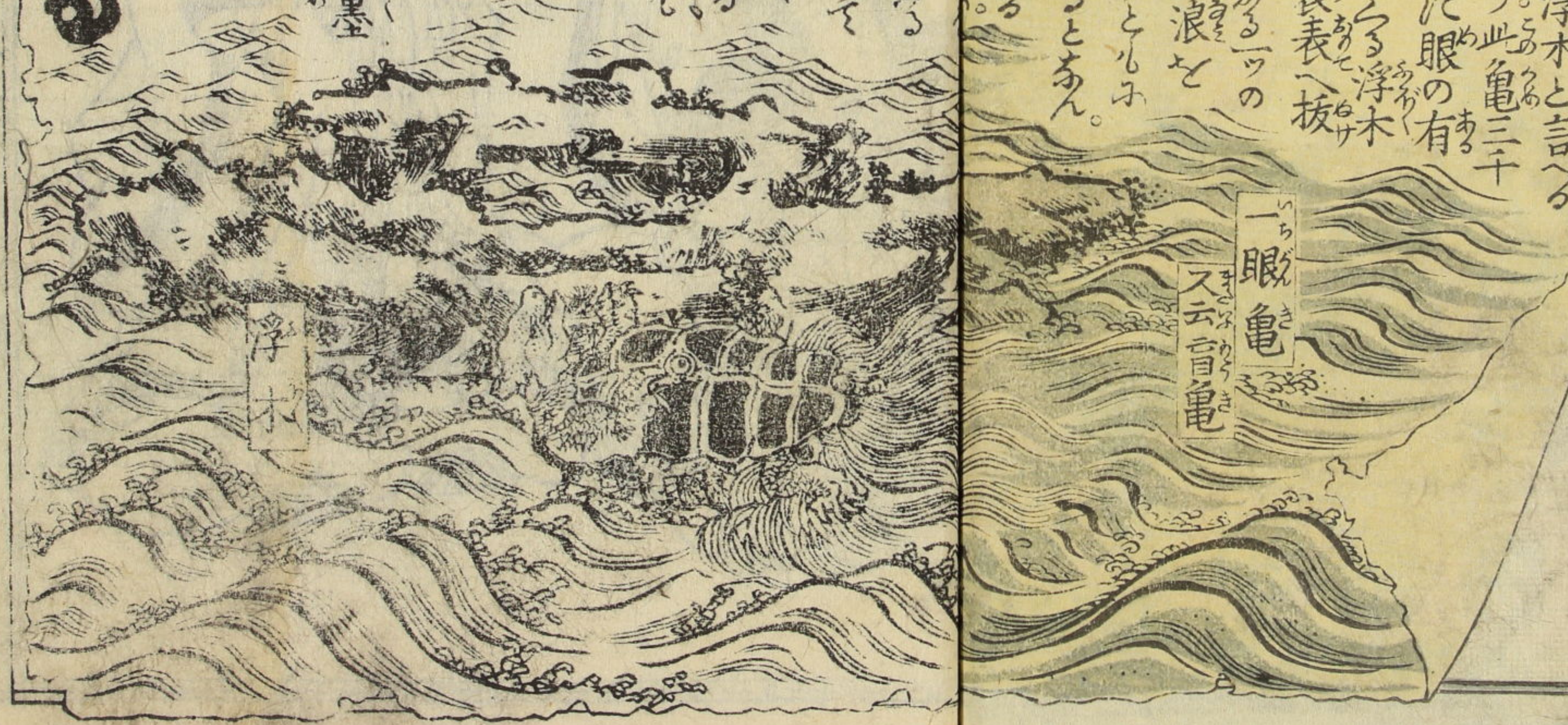
什麻出這策子の發端小説く盲亀の浮木と言へる
変へ海の底小腹の下小目の有る亀より此亀三千
年小一度海面上小浮まあがるは腹の下に眼の有
故日の光りと看る事を得た尙流まらる浮木
小偶てその上より乗り甲と干時這木小裏表へ板
通りうる穴ありて其穴へ那亀の腹の下ある一つの
目と自然とあ当居る折しも風志死浪を
打立る浮木を吹返したるは死亀の死とも小
逆さる小あり始る件の木柱孔より天日を見ること
余は三千餘小一度浮びる浮木小何れも平る

一眼亀
又云盲亀

穴小当て居んべ日の光りもつる支ある
ま。縦に孔小目を当りとも風吹来りて
覆さる穴空を視る支成さかへん況や
天の曇りし日欽又夜あると浮び出る穴ある
浮木の上小のりる風吹覆さるとありとも
ありくよ日せ看る支あるは曼を大師師の
金鑛集にも佛教小値偶とい首亀は
浮木小何れとも猶とある説きう
這はく俗の識るさるる浮木の朽木ある
べん桃の枯木小作り做し僕が一時の戯墨
のそ無用は并は似れども婦知乃為
小圖をさく摸写して這端文小換ふこと

戊午 為永

新春 五 春水記

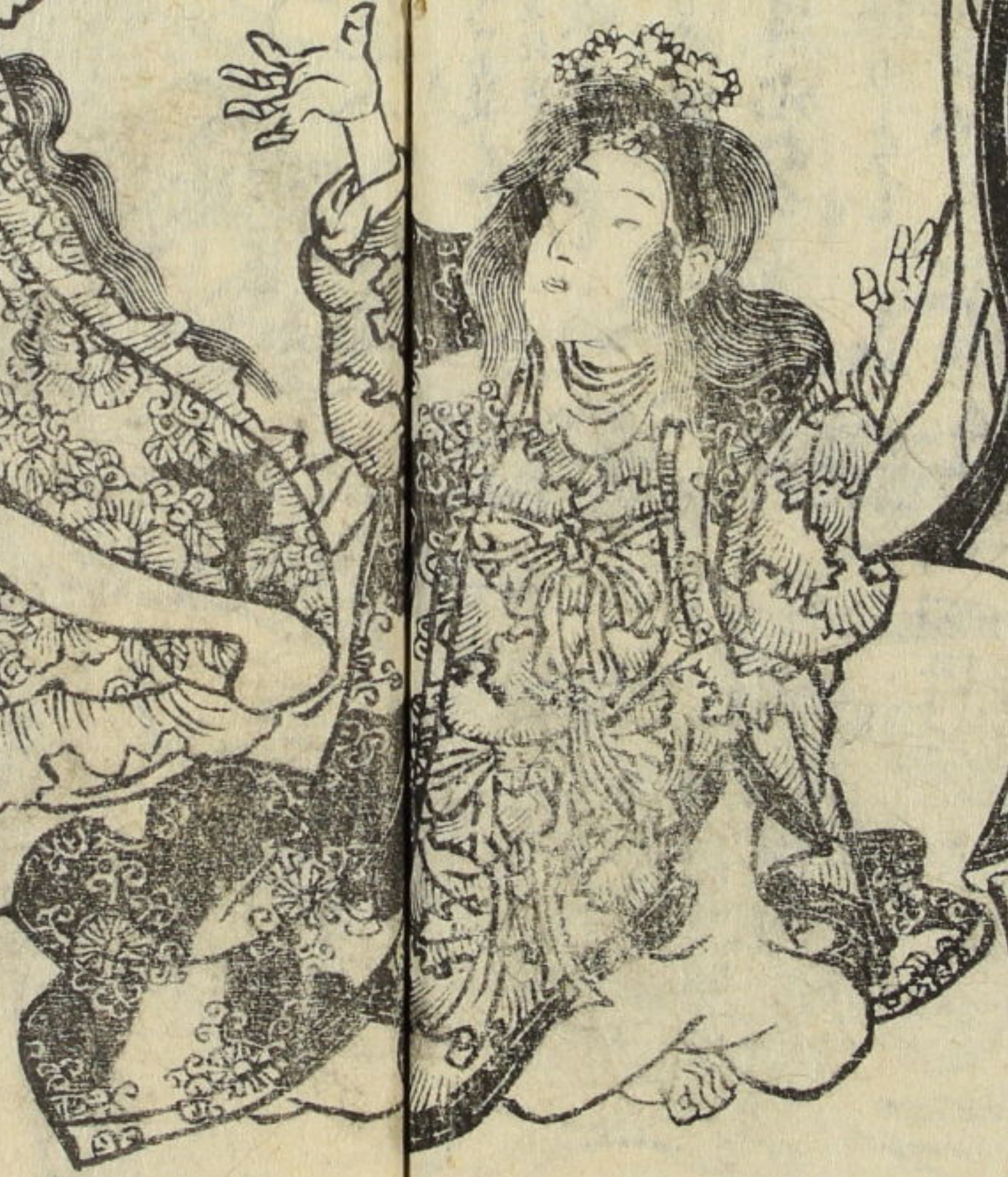


春水記

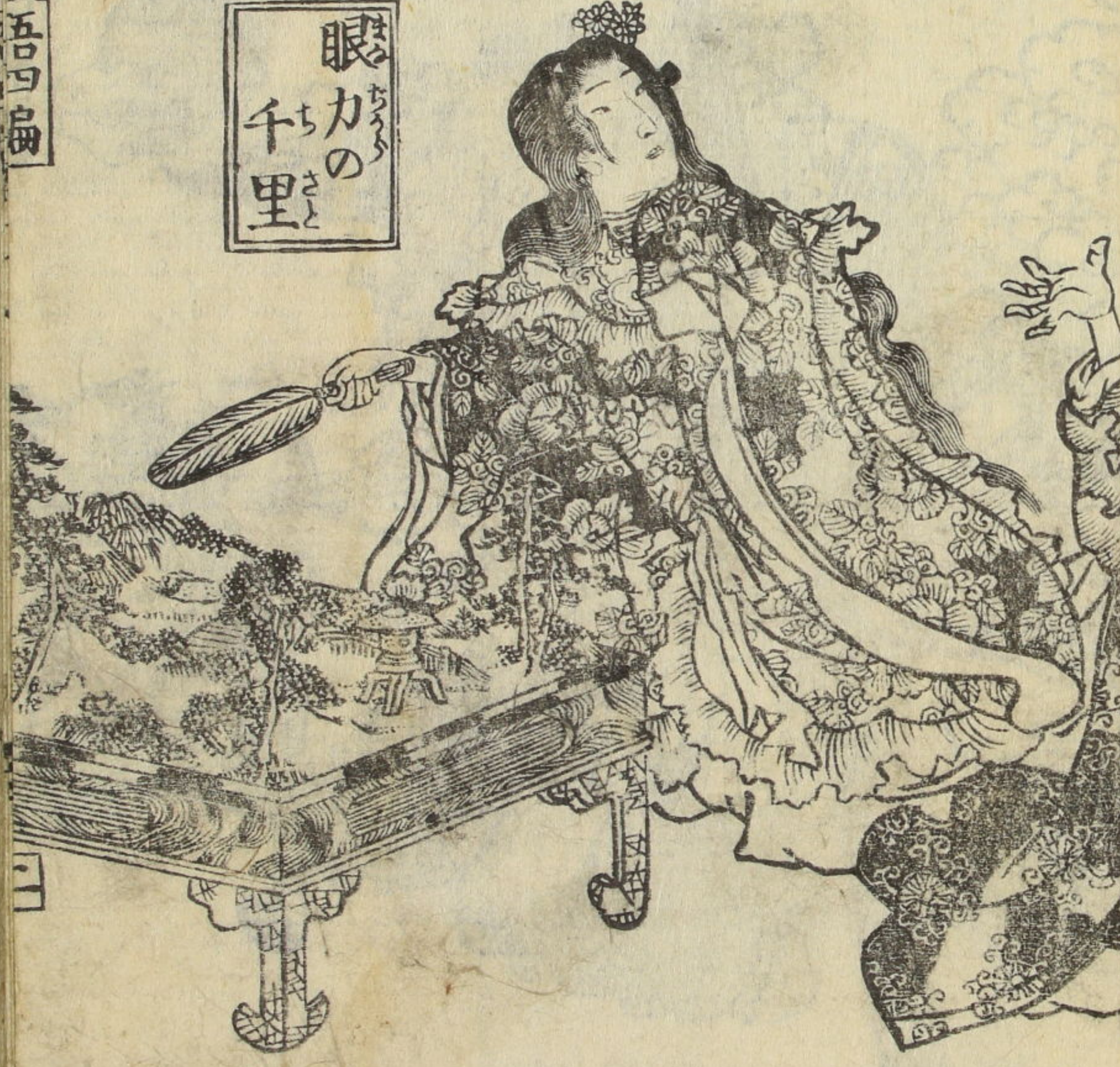
无量壽老仙
俗賞縮地生と云



敏耳の
順風



眼力の
千里





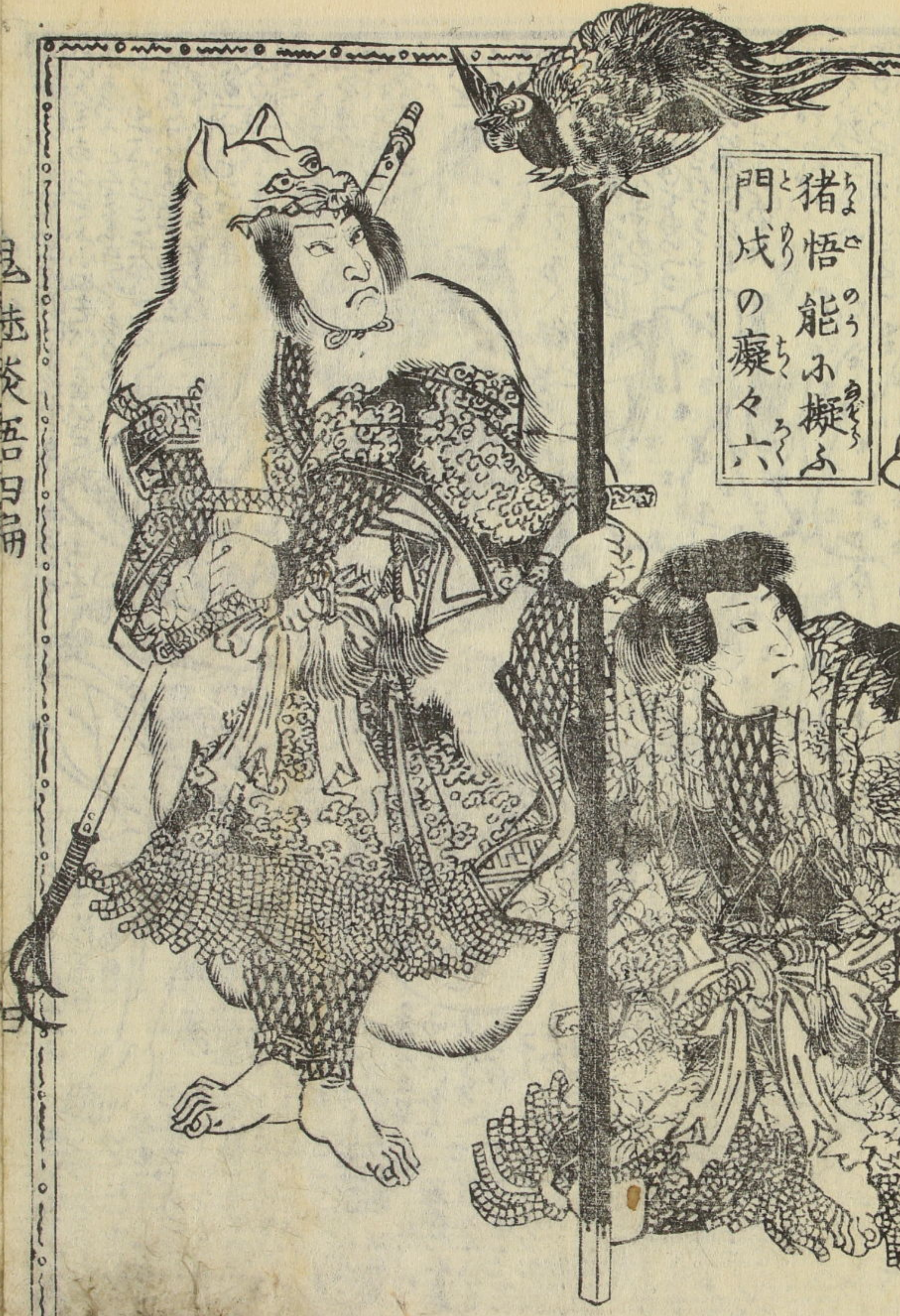
鬼夜叉吾曰

鬼夜叉の愛妾
 青柳の緑子



孫悟空の擬猿
 悟小のふ手

孫悟空の擬猿



猪悟能の癡々六
門戌の癡々六

鬼夜叉の妻
花房の直紅



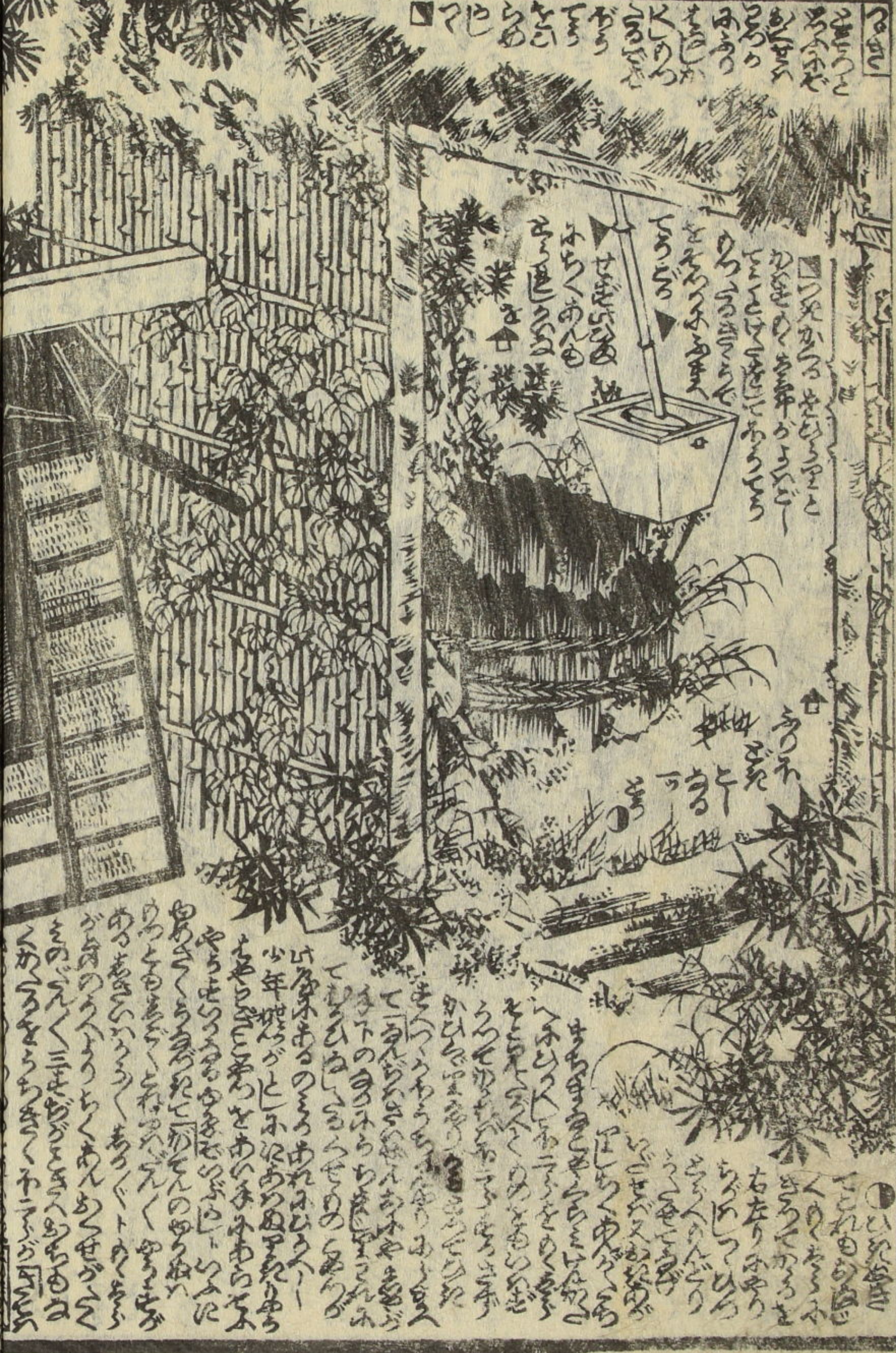
沙悟浄の嗔助
天羽の嗔助

三編のついでに... 父の母... 桃...

木... 父... 桃...

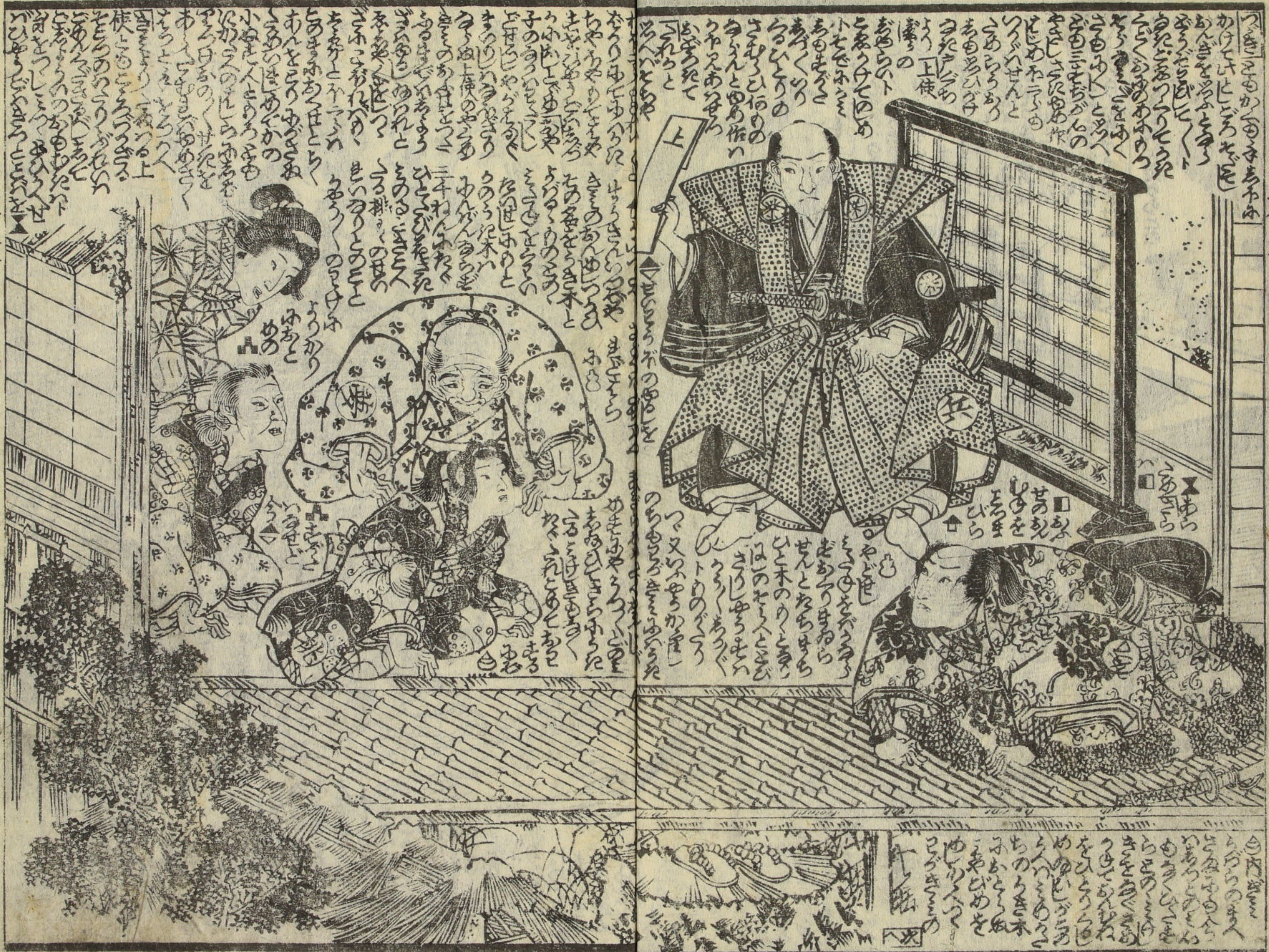


大津日記四巻



鬼馬詩四巻

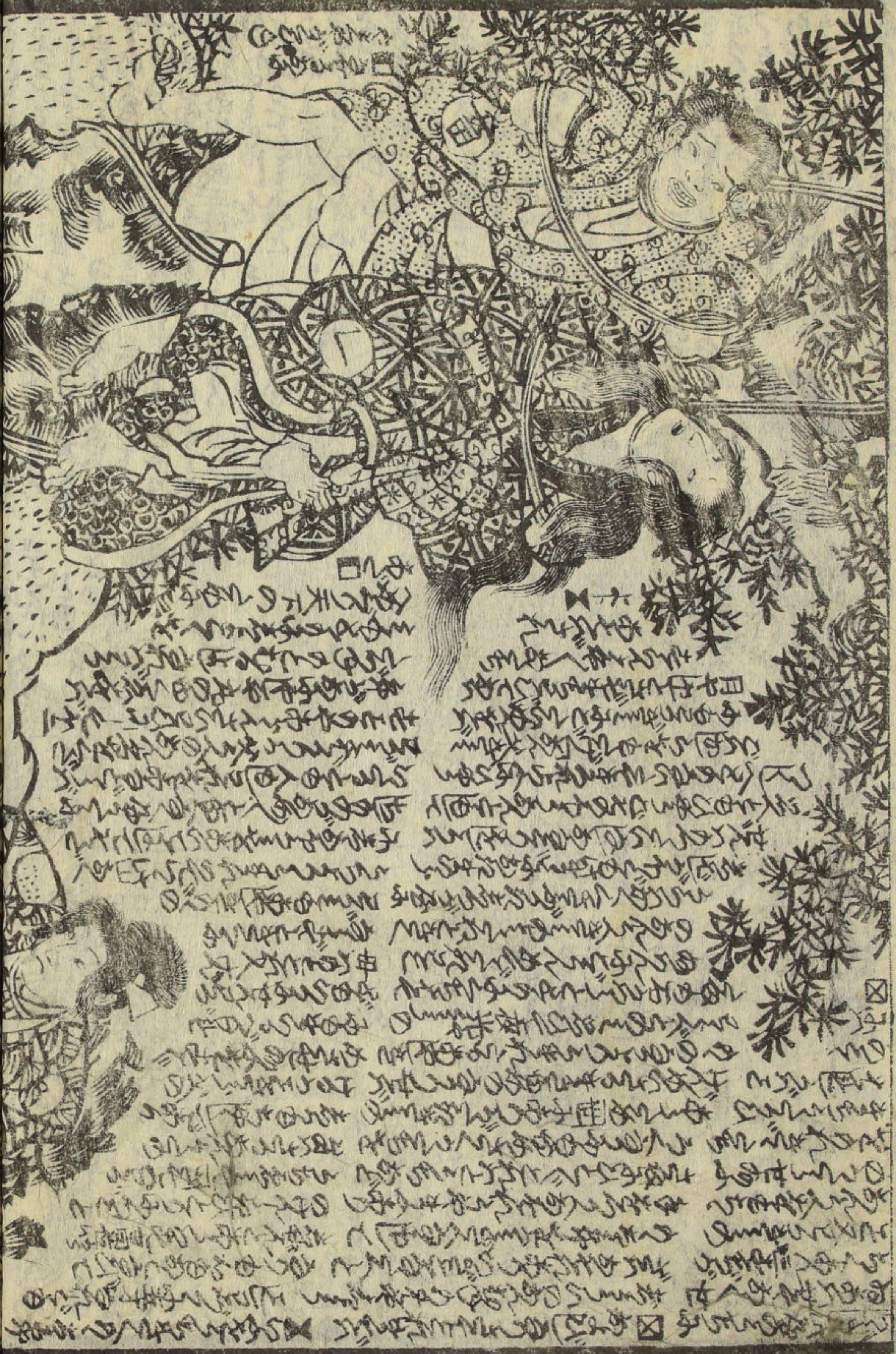
五







卷之四



卷之四

文慶堂藏板略目録

新撰 柳花志げり

新撰 柳花志げり 出板

永代高き性来

兩東 講教附

百人一首集文庫

清見性来

近刻

百人一首集文庫

農家 田舎性来

近刻

小唱文庫

源氏銘刀誌

中本 一冊 近刻

源氏銘刀誌

地本草紙問屋



人形町通 橋留町

大國屋金治郎



春水作 國貞画

新編 言言下巻

一

春水作
國貞畫





山莊
あり異香あり
ありて身をまじり
仙家のよらう
らるるところ
あり

山莊
あり異香あり
ありて身をまじり
仙家のよらう
らるるところ
あり

是は炎吾曰也

山莊
あり異香あり
ありて身をまじり
仙家のよらう
らるるところ
あり

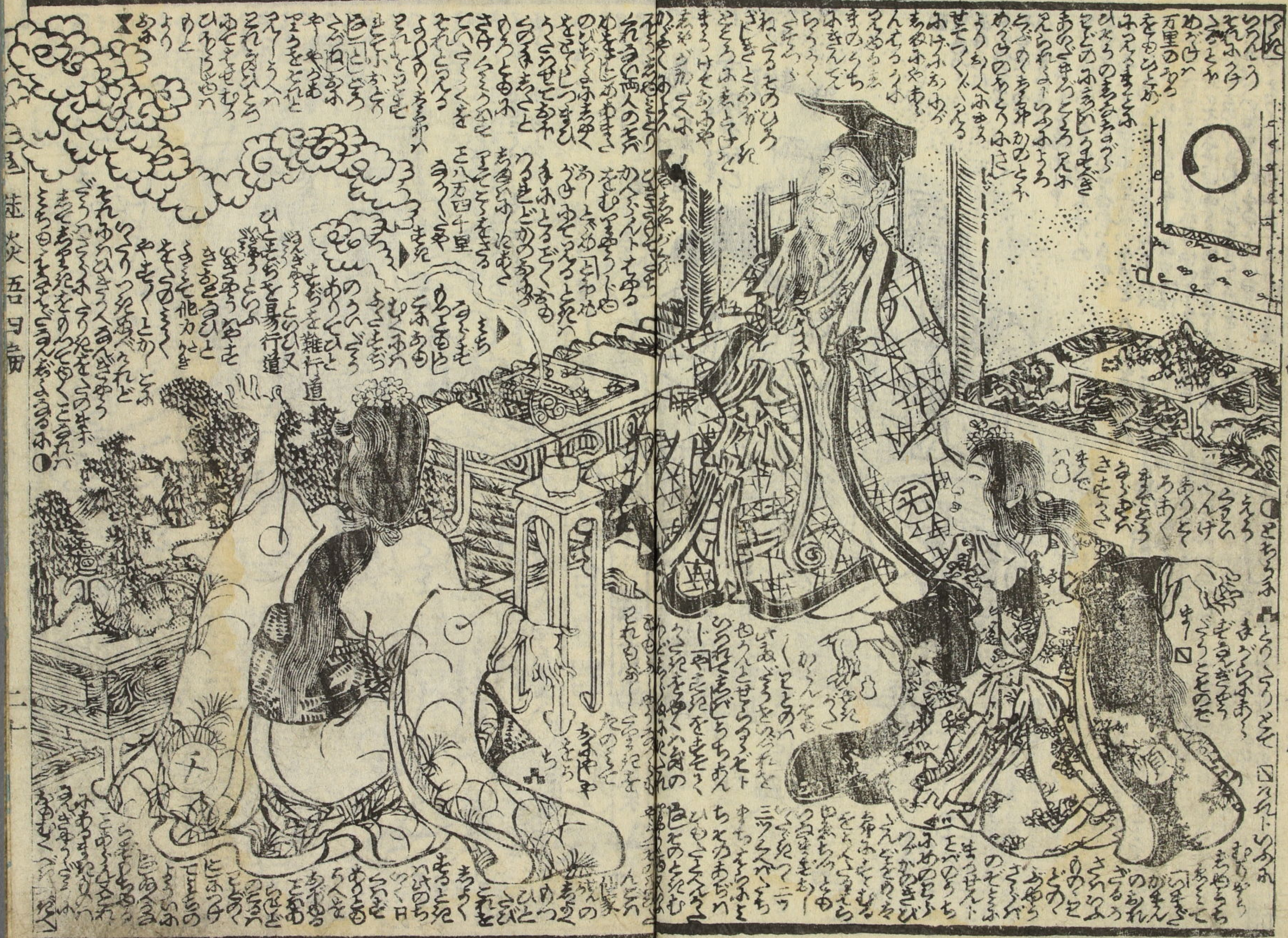


歡喜甚

山莊
あり異香あり
ありて身をまじり
仙家のよらう
らるるところ
あり

山莊
あり異香あり
ありて身をまじり
仙家のよらう
らるるところ
あり

是は炎吾曰也



志大父五日

...

司佐野屋
下捲
佐原

司佐野屋
下捲
佐原



あはれ世の
まはるはたんと
まはるはたんと
まはるはたんと
まはるはたんと

三魚